

調査研究協力者会議における議論の最終取りまとめ(概要)

～保育士のキャリアパスに係る研修体系等の構築について～

本協力者会議においては、保育現場に必要な専門性や研修事例等を踏まえつつ、保育士のキャリアパスを見据えて、リーダー的な役割を求められる職員に対する研修の体系化について議論を行い、以下のとおり、議論の取りまとめを行った。

研修分野・時間数

- 保育現場において専門的な対応が求められている以下の6分野について、リーダー的職員の育成のための研修が必要。
 - ①乳児保育、②幼児教育、③障害児保育、④食育・アレルギー対応、⑤保健衛生・安全対策、⑥保護者支援・子育て支援
- リーダー的職員としての経験を経て、主任保育士の下でミドルリーダーの役割を担う保育士に対しては、「マネジメントやリーダーシップ」に関する研修が必要。
- 専門分野別の研修に加え、実習経験の少ない保育士試験合格者や潜在保育士が受講できる「保育実践」の研修を設けることも必要。
- 研修の時間数については、1分野につき15時間程度(2日～3日程度)を目安とすることが適当。

研修の実施方法

- 講義形式のほか、演習やグループ討議等を組み合わせることにより、より円滑かつ主体的に受講者が知識・技能を修得できる。

実施主体

- 原則、都道府県とする。都道府県が適当と認める団体に委託する方法のほか、保育団体や保育士養成施設、市区町村が実施する研修を都道府県が指定する方法等も考えられる。
- 既存の研修等についても、都道府県が委託又は指定を行うことにより、活用することが必要。

研修修了の情報管理

- 修了証を発行するとともに、修了したことを記録し、管理する仕組みとする。
- 今後、キャリアアップの仕組みにつなげていくことも見据え、情報管理の一元化について検討が必要。

研修機会の保障

- 研修機会を保障するため、必要な環境整備を行うことが必要。
- 多様な実施主体を認める場合、研修情報を一覧できるような情報提供を行う取組も必要。

分野別リーダー研修の内容(案)

| 研修分野 | ねらい | 内容 |
|-------------------------------|--|---|
| ①乳児保育 (主に0歳から3歳未満児向けの保育内容) | ・ 乳児保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。 | ・ 乳児保育の意義 ・ 乳児保育の環境 ・ 乳児への適切な関わり ・ 乳児の発達に応じた保育内容 ・ 乳児保育の指導計画、記録及び評価 |
| ②幼児教育 (主に3歳以上児向けの保育内容) | ・ 幼児教育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた幼児教育を行う力を養い、他の保育士等に幼児教育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。 | ・ 幼児教育の意義 ・ 幼児教育の環境 ・ 幼児の発達に応じた保育内容 ・ 幼児教育の指導計画、記録及び評価 ・ 小学校との接続 |
| ③障害児保育 | ・ 障害児保育に関する理解を深め、適切な障害児保育を計画し、個々の子どもの発達の状態に応じた障害児保育を行う力を養い、他の保育士等に障害児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。 | ・ 障害の理解 ・ 障害児保育の環境 ・ 障害児の発達の援助 ・ 家庭及び関係機関との連携 ・ 障害児保育の指導計画、記録及び評価 |

| 研修分野 | ねらい | 内容 |
|--------------|---|--|
| ④食育・アレルギー対応 | ・ 食育に関する理解を深め、適切に食育計画の作成と活用ができる力を養う。 ・ アレルギー対応に関する理解を深め、適切にアレルギー対応を行うことができる力を養う。 ・ 他の保育士等に食育・アレルギー対応に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。 | ・ 栄養に関する基礎知識 ・ 食育計画の作成と活用 ・ アレルギー疾患の理解 ・ 保育所における食事の提供ガイドライン ・ 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン |
| ⑤保健衛生・安全対策 | ・ 保健衛生に関する理解を深め、適切に保健計画の作成と活用ができる力を養う。 ・ 安全対策に関する理解を深め、適切な対策を講じることができる力を養う。 ・ 他の保育士等に保健衛生・安全対策に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。 | ・ 保健計画の作成と活用 ・ 事故防止及び健康安全管理 ・ 保育所における感染症対策ガイドライン ・ 保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン ・ 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン |
| ⑥保護者支援・子育て支援 | ・ 保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる力を養い、他の保育士等に保護者支援・子育て支援に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。 | ・ 保護者支援・子育て支援の意義 ・ 保護者に対する相談援助 ・ 地域における子育て支援 ・ 虐待予防 ・ 関係機関との連携、地域資源の活用 |

| 研修分野 | ねらい | 内容 |
|--------|--|---|
| マネジメント | ・ 主任保育士の下でミドルリーダーの役割を担う立場に求められる役割と知識を理解し、自園の円滑な運営と保育の質を高めるために必要なマネジメント・リーダーシップの能力を身に付ける。 | ・ マネジメントの理解 ・ リーダーシップ ・ 組織目標の設定 ・ 人材育成 ・ 働きやすい環境づくり |

| 研修分野 | ねらい | 内容 |
|------|--|---|
| 保育実践 | ・ 子どもに対する理解を深め、保育者が主体的に様々な遊びと環境を通じた保育の展開を行うために必要な能力を身に付ける。 | ・ 保育における環境構成 ・ 子どもとの関わり方 ・ 身体を使った遊び ・ 言葉・音楽を使った遊び ・ 物を使った遊び |